

令和4年5月17日

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京 IT プログラミング&会計専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和3年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和4年度学校関係者評価委員会

<評価委員> (五十音順)

青山 文彦氏	立志舎高等学校 教頭
江畑 龍 氏	リコージャパン株式会社 エンタープライズ事業本部 首都圏 MA 事業部 デジタルサービス第五営業部 営業4グループ リーダー
河原 一 氏	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会 理事長
衣川裕美子氏	日本 SE 株式会社 ソリューション営業推進部 課長補佐
林 成治氏	あかり監査法人 公認会計士
平井 隆 氏	税理士法人 Alchemist 代表社員

<事務局>

中村 浩之	東京 IT プログラミング&会計専門学校 校長
内田 高成	東京 IT プログラミング&会計専門学校 教務部課長
畠山 信夫	東京 IT プログラミング&会計専門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
<p>基準1 教育理念・目標</p>	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標を「学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、ビジネスおよび情報処理に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページに基本情報として情報公開しており学外に広く公表している。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより各学科の目標とする検定試験等に高い合格実績をあげることができている。</p> <p>なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想が学生、保護者等に周知されているか</p> <p>ホームページへの掲載やオープンキャンパスでの説明など、学生・保護者等に周知されている。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見と質問があった。</p> <p>(1) 「ゼミ学習を行うにあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の具体的な方法はどのようにしているのか。」</p> <p>【回答】</p> <p>各校舎入り口で検温・手指の消毒、トイレやドアノブなど共有部分の消毒、マスク着用の徹底およびアクリル板飛沫防止パネルを使用して授業を行っている。</p> <p>(2) 「ゼミ学習を体験し、学生間で教え合う環境で友達とすぐに仲良くなれたし、先生との距離も近くなった。相手が分からないところを読み取って回答するという大変良い学習スタイルだと思う。」</p>

<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか 各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標としており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示して、繰り返し教職員に伝えている。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され機能しているか 運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか 人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度を整備している。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 日常的な意思決定は管理職が行っており、学校間の調整は企画本部や学園協議会で行っている。また、理事会、評議員会、学園協議会、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、本人了承のもと氏名や出身校名を載せているので、志望者や保護者の方の判断にも役立っている。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークで全拠点を結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「ホームページ上の情報はよく見ている。合格者の実績は他校と比べると数字的には少ないように見えるが、本科生だけの実績表示であり素晴らしい実績であると思う。」</p> <p>(2) 「全教職員に対してパソコンの貸与をしていることは、実社会において適切な取り組みである。ただし、利用者一人ひとりのセキュリティに対する意識を上げる必要があると感じる。」</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュ</p>

ラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も育成している。

ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

官公庁や企業からのアンケートを基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するよう指導している。また、公認会計士や税理士などの超難関資格を目指す学生には研究学科への進学を可能とし、さらなるレベルアップができるようにしている。

ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置し、企業の人事担当者による学内就職セミナーも実施している。また、現在ほぼすべての学科で職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を行っている。

ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

学生による授業評価アンケートを実施している。また教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。

ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

学則、専門課程便覧にその基準を明確に定め、学生にも周知徹底し、厳正に行っている。令和元年度より GPA を算出し学生の成績をより明確に把握している。

ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、カリキュラム編成をし、試験終了後見直しをしている。各学科でシラバスを作成し、適正な配置を行っている。

チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

専門性、人間性、教授力等の諸要件を備えた人材の確保はできている。

リ. 教員の能力開発のための研修などが行われているか

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間中は Teams や Zoom を利用したオンライン授業と対面授業を組み合わせ、授業を実施した。</p> <p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「教職員の研修については、専門分野の内容が日々変わっていく中、教職員のスキルアップは大切なことであり、そのスキルアップを行っていること自体が教職員や学校に対する信頼につながっていると思う。」</p> <p>(2) 「対面で話せばすぐに伝わるものがコロナ禍ではメールや SNS を使って文章での伝達となる機会が多く、きちんと伝わらないことがある。したがって、今まで以上にコミュニケーション力が必要となっている。特に相手が何を求めているのかを正確にくみ取り、その意向に沿った回答を相手に伝えることが大切であるため、受ける側の能力は重要だと感じる。」</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>コロナ禍にもかかわらず、就職率及び資格取得率についてはともに向上が図られている。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。さらに令和3年度から「日常コミュニケーションチェック表」を全クラスで導入し、学生の変化を日々確認できるようにしている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「とても素晴らしい実績だと思う。高度な資格はもちろんのこと新しい資格にチャレンジすることは大切だと思う。」</p> <p>(2) 「多くの合格実績が毎年継続して出せているのはすごいことだと思う。特に公認会計士試験において2年次合格者が多く出ていることはすごい。」</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、就職相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p>

	<p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>本学では独自の特別奨学生試験、各種特待生制度や延納制度を設けている。 また、高等教育の修学支援新制度の対象校として東京都より確認されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、学校医が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>また、校舎入り口や廊下・トイレに消毒剤などを設置し、手指を消毒することで感染症の予防を行い、さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、検温・体調チェックシートの記入・机やイスの消毒・教室内の座席等のソーシャルディスタンスを保つようにしている。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ただし、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため学園祭と球技大会は中止とした。クラブ活動と体育祭は感染防止対策を徹底し可能な範囲内で実施した。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に2回送付している。また、必要に応じて保護者と面談も実施している。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</p> <p>無料で高校生の民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生が参加している。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「各種の授業料の減免制度は良い支援だと思う。もし可能なら就職後に授業料を納めることができる制度もあつたら良いのではないかと感じた。」</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教育上支障がないように整備されている。ただし、できる限り最新の器材にしていきたいと考えている。また、令和3年度は、校内のWi-Fi環境を全教室に整備して、オンライン授業や企業の説明会、面接に対応した。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職</p>

	<p>員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。しかし、大規模災害等何が起こるかわからない状況を考え、今後も改善をしていく。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「授業のオンライン化について、Teams や Zoom 等を使用し全員参加型で授業を実施していることは良いことだと思う。ただし、一方的な授業となると学生の理解度のチェックが課題となる。また、eラーニングのような時間と場所を選ばずすぐに学べる環境もあつたらより良いのではないかと思う。」</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験合格においては、合格者情報に氏名・出身校名を載せており、入学者に対するアンケートにおいても、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「入学する際に資格取得や就職率などの実績は学校を検討する際のポイントとなる。特に自分と近い年齢の人たちの実績がアピールできるのは有力な情報だと感じる。今後、どの学校も同じような情報を提供してくるのでその中で差別化をどう図るのが課題となると思う。」</p> <p>(2) 「今の高校生はスマートフォンが手放せず、すぐにスマートフォンで調べるためホームページやSNSでの情報発信は非常に有効だと思う。」</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告</p>

	<p>書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、監査報告書を公開している。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「財務情報が公開されているということは、学校の状況が分かるためとても良いことだと思う。」</p>
<p>基準9 法令等の 遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、法令遵守規程を作成し施行している。令和3年度においてはオンラインにて実施した。</p> <p>学生に対しては「SNS利用についてのガイドライン」を配布し利用上の注意を周知した。</p> <p>また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、覚書等で保護の徹底を行っている。また、国家試験等の合格情報や就職実績の情報を氏名や出身校名を出して掲載する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。</p> <p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「自己点検・自己評価は自身で振り返りそれを受けて次に活かしていることが良いと思う。しっかりと継続して実施して欲しい。」</p>
<p>基準10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p>

	<p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の路上清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、地域の状況に応じてお祭りやフェスへの参加など社会貢献・地域貢献ができています。ただし、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で各種行事が中止となり参加できなかった。</p> <p>また、地域の方々に対する学校独自の公開講座等はないためその点はやや不適切である。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「地元のフェスで応援団・ブラスバンドにお世話になっている。ここ2年中止になっているが、今年開催できるとしたらぜひ協力をお願いしたい。御校の地域貢献度は非常に高いと感じる。」</p>
--	---

〔総括的な意見〕

すべての評価項目の評価について妥当となっている。

令和3年度は令和2年度に続きコロナ禍にもかかわらず、学生の合格実績、就職実績については十分な結果を出しており、学生の頑張りとそれに応えるための先生方の努力の賜物だと感じる。

ゼミ学習を体験している卒業生は、非常にコミュニケーション力が高く即戦力として社会に貢献できるため、今の形を続けてもらいたい。そのためにも学園組織体制の引継ぎをうまく実施し、合格実績や就職実績、ゼミ学習の実施による人材育成など学園の存続の確保に努めて欲しいと思う。

そして、卒業生には自ら考えて自ら行動できる人材になって、社会へ貢献して欲しい。

また、専門的な勉強だけではなく、新しいものを取り入れ、持続的に地域の盛り上がり貢献し続ける学園であることを期待する。